

## 私×スポーツ＝ラグビーだけじゃなかった

京都頸髄損傷者連絡会 N・S

まさか、こんなに好きになってしまうとは」…体育館での練習中に、そんなことを考えていま。「した。高校生のときにラグビー事故で車いす生活を送るようになってから、スポーツを「観る」ことはあっても、「する」機会はありませんでした。機能的なことでプレーできないということもあったのですが、すべてのスポーツをひっくるめて考えても、ラグビーの魅力に勝るものが無かったことが。一番の要因だったと思います

出会いは突然でした。大阪頸損連2015年の新年会で糸賀亨弥さんという方から「一緒に遊ばへん？」と声を掛けられ、気付けば堺市の体育館で、必死になってボールを追いかけている自分がいま」。したWheelchair

Football(以下、WCF)という名前のスポーツでした。自走式車いすと電動車いすのプレイヤーが「同じフィールドでプレーでき、コンタクト(激しくぶつかる)プレーも無いため老若男女関係なく参加することができます。その斬新なルール、そして何より糸賀さんの人柄に惹かれてWCFにのめり込んでいきました。練習中の緊張感や、終わった後の爽快感、毎日泥だらけになりながら楕円球を追いかけていた高校生活を思い出していました

WCFは、現在大阪(堺市立健康福祉プラザ)京都、(京都市障害者スポーツセンター)の2チームで、活動しております。誰もが一緒になってプレーできるこのスポーツを、一人でも多くの方に知ってそして参加していただきたいと思っております。興味のある方は、代表の糸賀さん(wfj.itoga@gmail.com)。まで

Let's join us!!



！屋内で行います



代表糸賀さん(左)・Alex(中央)中村・(右)